

精神障害者スポーツ大会普及啓発事業『ピアスポーツかながわ』 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン

令和2年9月1日策定

令和3年4月1日改訂

一般社団法人神奈川県障がい者スポーツ協会

『精神障害者スポーツ大会普及啓発事業「ピアスポーツかながわ」(以下「当イベント」という。)]について、令和3年2月15日付改訂の公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 連名で出された「スポーツイベントの再開に向けた感染症拡大防止ガイドライン」を準用し、各スポーツ団体が発出する感染症拡大防止ガイドラインを踏まえ、当イベントにおける感染症拡大防止ガイドラインを定める。なお、内容は今後の感染状況等を踏まえ、変更する可能性があることをご留意ください。

【基本方針】

1 事前周知の徹底

イベントの参加者や関係者に対し、一般社団法人神奈川県障がい者スポーツ協会(以下「協会」という。)HP及びSNS等を活用して、感染予防対策について事前に周知する。

また、以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。

- (1) 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- (2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- (3) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

2 感染予防のための基本的な対策

感染予防の基本的な対策として次の項目について実施する。

- (1) 咳エチケット、マスク着用の徹底すること(競技中を除く)。
- (2) こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒の徹底すること。
- (3) 検温・体調管理の徹底すること。
- (4) 定期的に会場の換気すること。
- (5) ソーシャルディスタンス確保すること。
- (6) 参加者及びイベント関係者すべての連絡先及び体温、体調等を把握すること。
- (7) 厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)やLINE コロナお知らせシステムを活用する。

※ 具体的な対策については、別に定め、必要事項においては会場内に掲示するものとする。

3 当日イベント参加者への対応

(1) 体調の確認

イベント当日に、参加者から次の情報を「受付シート」に記載し、主催者（運営事務局）が保存できる形で提出を求める。なお、個人情報の取扱いについては十分注意する。

ア 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号等）

イ イベント当日の体温

ウ イベント前2週間における以下の事項の有無（次の事項に該当する場合の参加は認めない）

- ① 平熱を超える発熱
- ② 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
- ③ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
- ④ 嗅覚や味覚の異常
- ⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- ⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(2) マスク等の着用

運動中のマスク着用は参加者の判断によるものの、受付時、着替え時や移動時等のスポーツを行っていない間、特に会話するときには、必ずマスクを着用すること。

(3) LINE コロナお知らせシステムの登録

受付時に、新型コロナウイルス感染防止対策取組書に掲載している二次元バーコードを読み取り、LINE コロナお知らせシステムに登録すること。

(4) その他

- ・ 水分補給は定められた場所で行い、参加者同士によるペットボトル等の回し飲みはしないこと。また、マスク等を着用しながらの運動は脱水症状を起こす恐れがあるため、こまめな水分補給をすること。
- ・ イベント中に大きな声で会話、応援等しないこと。
- ・ 競技で使用するラケット等は使用後に都度アルコール消毒を行うこと。また、卓球台等も消毒すること。
- ・ ビブス等の使用は極力避け、使用する場合は、着回さないようにすること。

4 イベント終了後の対応

イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者（事務局）に対して速やかに報告するとともに、濃厚接触者の有無等についても報告すること。

【具体的な対策（チェックリスト）】

1 会場の設営について

- 利用する施設の定めるガイドライン等に準じて設営・準備を進める。
- 休憩場所として観客席等を使用する場合は、人と人との距離を確保した座席配置とする。
- 手指用アルコール消毒液を各箇所に設置する。（受付、会場出入り口、洗面所等）
- 会場内を定期的に換気する。
- 利用施設等のガイドラインに従い、施設の利用人数を制限する。また、ロッカールーム等で密にならないよう利用人数を制限するほか、施設により使用が困難な場合は、あらかじめHP等に周知すること。

2 受付時について

- 混雑を避けるための対策を講じる。
- 飛沫感染を防ぐため、受付時のマスク着用を義務付け、必要に応じて飛沫感染防止用シート等を設置する。
- 手指消毒ができるように消毒用アルコール等を設置する。
- 受付時には、氏名、連絡先の記入に加え、検温の実施とイベント前2週間における体調チェックを「受付シート」に記載する。
- 受付物品をこまめに消毒する。
- 新型コロナ感染防止対策取組書に掲載している二次元バーコードを読み取り、LINE コロナお知らせシステムに登録する。

3 会場内の対策について

- 競技中を除き、マスクを着用する。なお、イベント関係者（参加者を除く）は競技中も可能な限りマスクを着用すること。
- 会場の換気を十分に行う（機械換気、窓の開放による換気）。
また、必要に応じてCO₂測定装置を設置し、窓開け換気の基準値を設定し、換気することが望ましい。
- 指導者や参加者同士の距離を十分に空け、可能な限り、ソーシャルディスタンスを確保する。
- 競技開始前や終了後は、各ブースに設置している手指用アルコール消毒液等により、手指消毒を行う。
- 競技用具の貸し借りは行わず、使用後は都度消毒する。
- ビブス等のその場で十分な消毒が困難なものについては、当日限りの使用とし、着回さない。